

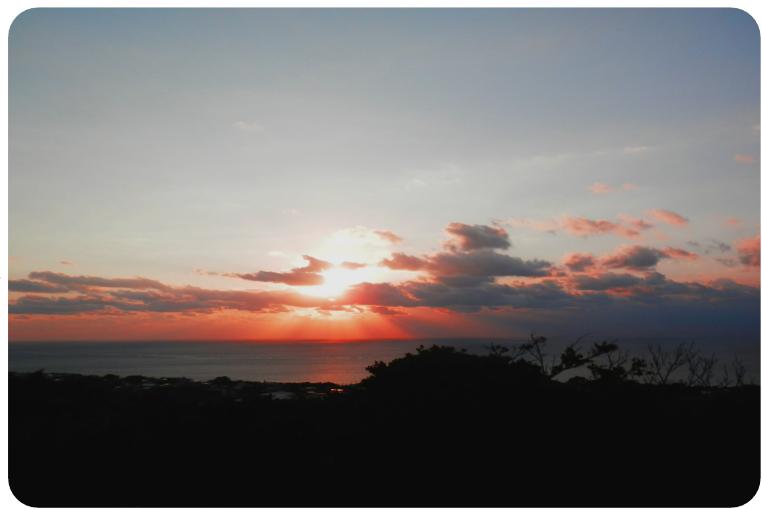


く が に

公益社団法人
南城市シルバー人材センター
南城市玉城字富里167番地
電話(098)852-6655
ファクス(098)852-6656
e-mail:nanjo@sjc.ne.jp

賀正

とり年に 飛躍誓う



輝く新年の曙光（沖縄県立玉城青少年の家屋上から）

新年おめでとうござ
います。
南城市シルバー人
材センター会員、事
務局職員そして玉城
青少年の家職員の皆
様には、健やかに平
成29年の初春を、お
迎えのこととお喜び
申しあげます。

平素は、当センター
の事業運営に格別の
ご理解とご協力を賜
り厚くお礼申し上げ
ます。

本年度の会計年度
も残り3カ月となり、
会員数、受託契約額、
就業延べ人員、シル
バー派遣契約額とも

第一と適正就業

『安全第一と適正就業』



製造販売したところ、この堆肥を活用した方々から高い評価を得て、販売実績が順調に推移しています。南城市は、平成28年4月1日から介護予防・日常生活支援総合事業をスタートさせました。当センターは、その事業を受託して、同年3月に初任者養成講座を

就業拡大と会員拡大は、前年同様に今年も「会員による一人一事開拓、一人会員入会促進」を進め、会員増と就業拡大に一層のご努力をお願い致します。

また、介護・日常生活支援総合事業は行政の負託に応えるためにも特に女性会員の拡大を図りたい。

シルバーで 知恵の輪 人の輪 社会の輪
入会まっちょ～いび～んどー
(公社) 南城市シルバーパートナーズセンター
電話 (098) 852-6655

まジマ
散歩

堅 手 久 文 字 念 知

ろうと考えられている。

この周辺にはまた、琉球石灰岩のくぼみに小さな石を積み上げて蓋（ふた）をした遺構が散在する。隣接の安座真地区に住む南城市ガイド・アマミキヨ浪漫の会の屋比久一男さんは「ここにあるのは風葬墓。くぼみの中には甕棺（かめかん）がたくさん安置されている」という。

かつては久手堅地区だけでなく周辺の人々も、琉球の創生神アマミキヨが造つたとされる斎場御嶽の後背地のこの山で死者を弔つていたとみられ、安座真の伝説的長寿神ウフジチューの墓もある。

南側をイキガ（男）ナーワンダーと呼ぶ。総称してナーワンダーグスクといい、ともに野面積の古い石垣が残るが、誰が何のために築いたとか記録はなく、ここで生活できそなため、祭祀貴跡だ

（シテ）から北西に約二百メートルは登ると、高さ十メートルほどの二つの岩山に囲まれた広場に出る。北側の岩は円錐形をしているが、南側はとがっており、地元では北側をイナグ（女）ナーワンダリ、

世界遺産・斎場御嶽の拝所、寄満（ユイノチノハラヒキセイ）が盛明さん、青少年の家職員の糸数勝昭さん、新垣作り教室」が

糸縄県から指定記している県立
年の家に、昨年
的なピザの石釜
11月13・20日の
金を楽しみました。
窯の施工に当たっては、
知念夏奈子専門職員の父
上・屋比久健次さんが設
計にご協力。シルバー会



右イナグ、左イキガのナーワンダーグスク
ない。
メモ
久手堅地区は地理的に旧知念村の中央部にあるため、小中学校や児童館、図書館、交番、郵便局などの公共施設のほか、JA、地域物産館等が集中している。戸数は233戸、人口は356人。
(南城市シルバーリソースセンター)



子どもたちもピザ作りに懸命

□ 事務局から
《確定申告用》

会員の皆さん明けましておめでとうございます。

旧年中は、南城市シルバー人材センター事務局に特段のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年も税金の確定申告の時期が迫ってまいりました。事務局では、税金の申告に必要な平成28年分配分金支払い証明書を、各会員宛て郵送いたしましたので、必ずご確認ください。

再発行は致しませんので、絶対無くさないよう大事に保管して、税金の申告にご活用下さい。

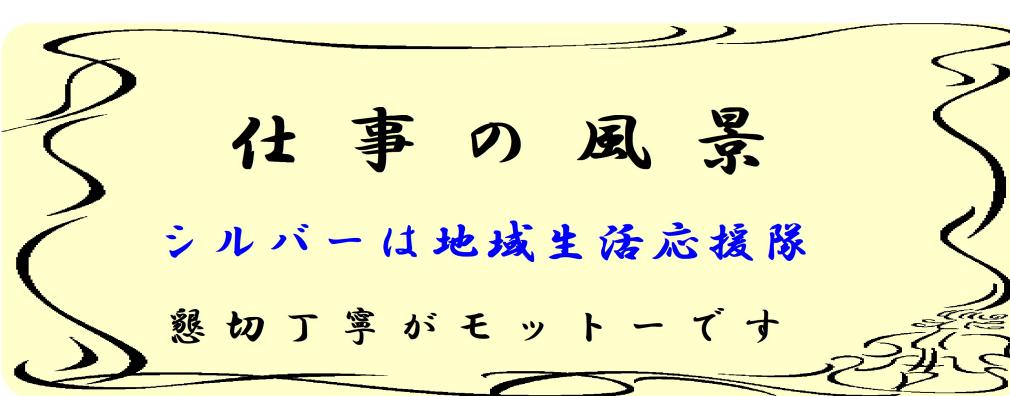
シルバー人材センターは公益社団法人で、高齢者の雇用に関する法律による国の補助団体です。

会員の皆さんが就業により得た、配分金収入は、所得税法上「その他の雑所得」に該当し、租税特別措置法第27条の規定に準じて、必要経費の控除が認められていますので、是非、「平成28年分配分金支払い証明書」を活用して下さい。

お知らせ 配分金証明書郵送



就業前に身体をほぐすラジオ体操



互助会主催県内バスツアーで記念撮影



エコセンター樹木の仕分け作業



ていねいに仕上の清掃作業



掃除用具取り付け作業中



使う人の身になって心を込め清掃



休憩時間はコミュニケーションの最良の場



ボランティア活動でも仕事に真心こめて!



沿道の除草作業に精を出す会員



ボランティア活動中

就業中の人身事故、物損事故が多発しています。このままでは、昨年度をはるかに上回ることが予想されます。多くの事故が各自の注意、連携によって防げます。



九州ブロックでの南城市シルバーの活動発表
右手奥が屋我局長



発表する屋我局長



無理をしない

服装履物に配慮

就業前に柔軟体操

器具の点検怠らず

まず出来る事から

☆十分な睡眠で
体調に常に気
をつけ健康な
状態で就業す
ること

☆帰宅するまで
は仕事のうち
をつけること

☆共同作業では
合図・連絡を
正確に行うこと



忘れるな安全心得十力条

今年度に入つてから就業中の人身事故、物損事故が多発しています。このままでは、昨年度をはるかに上回ることが予想されます。多くの事故が各自の注意、連携によって防げます。

会員さん登場 新垣 弘さん 大里字稻嶺 母とともに僚船「暁空丸」に乗つて宮崎に疎開途中だった。昭和19年8月22日夜、那覇港を出港した疎開船「対馬丸」は米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没、約150人が亡くなつた。

新垣さんは、その悲劇を何度も母から聞いた。當時2歳、元気で魅力ある街づくりでした。その様に設定したのは南城市が、更に輝き発展するためには、我らがセントーの活躍が欠かせないという自負からでした。屋我局長は、パワーポイントで作った画像を会場の大画面に投射しながら、南城は200人の参加者を前に、事例発表を行いました。この協議会は、毎年、各シルバー人材センター相互の交流や職員の研修を目的に、九州・沖縄の会議では、全国シルバーカー人材センターの幹部による「シルバー人材センターの課題」や「シルバー人材センターの魅力再生に向けて」などの講演が行われましたが、質疑も含めて最も会場が湧いたのは、屋我局長の発表でした。テーマは、「行政との連携で、ちやーがんじゅうシティーの実現へ」で、サブタイトルは「日本一

意によって起きるものです。会員の皆さんも安全・適正就業推進委員会では、事故の予防策を検討し、次のとおり取りまとめ、10月期の理事会に報告いたしました。

事故は気の緩み、不注意によって起きます。

たと思思います。

安全・適正就業推進委員会では、事故の予防策を検討し、次のとおり取りまとめ、10月期の理事会に報告いたしました。

事故は気の緩み、不注意によって起きます。